

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 3クオ ーター / Third Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/09/28 ~ 2020/11/16		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587036903	科目番号 / Course code	05870369
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12311_006		
授業科目名 / Course title	b19教育相談COC / Educational Counseling		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	小川 さやか, 富永 ちはる, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	小川 さやか		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	小川 さやか, 富永 ちはる, BERNICK PETER JOHN / Bernick Peter John, 矢内 希梨子 / Kiriko Yanai		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目, 教職課程関連科目, 教職に関する科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	ogawa-sa nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	保健・医療推進センター		
担当教員TEL/Tel	095-819-2210		
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜日17時~18時		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	本授業では、教育相談の理論や歴史を中心とした基礎的知識を学習する。基礎的知識に加え、教育現場等で必要な相談に関する技法をいくつか学習する。		
授業到達目標/Course goals	個々の児童・生徒の悩みに対応できる知識とスキルを身につける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて 欲しい力 (1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above 毎回の授業開始時と授業終了時におけるレポート作成 F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	1) 授業出席・授業態度 30% 2) レポート・提出物 70%		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習：予めLacsに掲載されている講義資料に目を通した上で講義にのぞむこと。(2h) 復習：講義資料やノートをもとに復習し、授業内容について理解を深めること。(2h)		
キーワード/Keywords	教育相談、来談者中心カウンセリング、行動療法・行動カウンセリング、長崎県の相談窓口		
教科書・教材・参考書/Materials	<教科書> ・授業内で配布するプリントを利用する。 <参考書> ・よくわかる教育相談 ?やわらかアカデミズム・わかるシリーズ?: 春日井 敏之 (編集), 伊藤 美 奈子 (編集), ミネルヴァ書房, 2011 ・図で理解する生徒指導・教育相談: 佐々木 雄二 (著)・笠井仁 (著), 福村出版, 2010 ・教育相談・学校精神保健の基礎知識: 大芦 治 (著), ナカニシヤ出版, 2008 ・相談活動に生かせる15の心理技法: 「月刊学校教育相談」編集部 (編集), ほんの森出版, 2004 ・教育相談?教師教育テキストシリーズ?: 広木 克行 (編集), 学文社, 2008 ・教育相談の理論と実際?よりよい教育実践をめざして: 河村 茂雄, 図書文化社, 2012 ・教育相談入門 ?こころの科学叢書?: 高野久美子, 日本評論社, 2012		
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 （TEL）095-819-2006（FAX）095-819-2948 （E-MAIL）support@ml.nagasaki-u.ac.jp	
備考（URL）/Remarks（URL）	地域課題と関連して、長崎県・市の教育相談窓口についても概観する。	
学生へのメッセージ/Message for students	授業理解度の自己評価を導入している関係上、毎回レポートを提出して頂きます。ご意見・ご質問などはメールでお願いいたします。	
実務経験のある教員による授業科目であるか（Y/N）/Instructor(s) with practical experience（Y / N）	N	
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容（実務経験のある教員による授業科目のみ使用）/Name / Details of practical experience / Contents of course		
授業計画詳細 / Course Schedule		
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents	授業手法 / Lesson method
第1回	教育相談の歴史と意義	A B C D
第2回	学校における教育相談体制と相談の進め方	A B C D
第3回	児童・生徒の発達に応じた教育相談	A B C D
第4回	児童・生徒が抱える心の問題の種類	A B C D
第5回	心の問題を明らかにする方法（1）	A B C D
第6回	心の問題を明らかにする方法（2）	A B C D
第7回	来談者中心カウンセリングについて（1）	A B C D
第8回	来談者中心カウンセリングについて（2）	A B C D
第9回	行動療法・行動カウンセリングについて（1）	A B C D
第10回	行動療法・行動カウンセリングについて（2）	A B C D
第11回	グループエンカウンターについて	A B C D
第12回	心理教育について	A B C D

第13回	保護者への教育相談	A B C D
第14回	各種関係機関との連携	A B C D
第15回	総括	A B C D

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 1クオ ーター / First Quarter	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 3, 月 / Mon 4
開講期間 / Course duration	2020/04/08 ~ 2020/06/08		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587038102	科目番号 / Course code	05870381
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12351_005		
授業科目名 / Course title	b19芸術 / Art		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	加納 暁子 / Kanou Akiko, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	加納 暁子 / Kanou Akiko		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	加納 暁子 / Kanou Akiko		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	[教育]音楽棟2F1番教室		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	k-akiko nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	教育学部音楽棟3階		
担当教員TEL/Tel	095-819-2346		
担当教員オフィスアワー/Office hours	メールで事前に問い合わせること。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	音楽を取り上げ、教育における芸術の役割について理解することを目標とする。教育において音楽がどのように教えられているのか、音楽を通して人間は何を感じ、何を学ぶのかについて考察する。		
授業到達目標/Course goals	文化としての音楽、音楽と人間の関係、音楽教育について理解するとともに、音楽表現ができる。 1. 各楽曲について、その特徴や作曲者、作曲背景について理解できる。( ?I ) 2. グループで協力しながら演奏表現ができる。( ?D?E ) 3. 事前予習課題において楽曲について積極的に調査し、自分の思いを述べることができる。 ( ?@?B )		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業内における態度・貢献度30% 予習課題20% 最終試験50%		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法 ) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	予習: 予習レポートを作成、提出したうえで講義にのぞむこと。(2h) 復習: レジユメを再読し、理解を確実にするよう努めること。(2h)		
キーワード/Keywords	人間と音楽、音楽教育、表現		
教科書・教材・参考書/Materials	参考書「西洋音楽の歴史」東京書籍ほか(授業内で指示する)		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	音楽に興味、関心があること。 音楽活動の経験、音楽学習の経験があり、楽譜が読めることが望ましい。		
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	授業に対して真面目に取り組むこと。 授業態度の悪い者は単位を認めない。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	加納 暁子/学校現場における教員経験/学校現場における教員経験のある者が、その経験を活かし て、今日的な学校現場での課題への対応を指導する。/中学校で音楽科の 授業を担当
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	ヴィヴァルディの協奏曲「四季」
第2回	J.S.バッハ「小フーガ」
第3回	モーツァルトについて
第4回	モーツァルトについて
第5回	ベートーヴェンの交響曲「運命」
第6回	シューベルト「魔王」
第7回	ショパンについて
第8回	国民楽派の作曲家
第9回	舞台芸術「オペラ」
第10回	舞台芸術「オペラ」
第11回	舞台芸術「ミュージカル」
第12回	印象派の作曲家ドビュッシー
第13回	ディスカッション、器楽合奏
第14回	ディスカッション、器楽合奏
第15回	ディスカッション、器楽合奏
第16回	最終試験

学期 / Semester	2020年度 / Academic Year 4クオ ーター / Fourth Quarter	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 3, 火 / Tue 4
開講期間 / Course duration	2020/11/25 ~ 2021/02/02		
必修選択 / Required / Elective	選択 / elective	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	2.0/2.0/2.0
時間割コード / Time schedule code	20200587047901	科目番号 / Course code	05870479
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEMB 12331_005		
授業科目名 / Course title	b19日本語と社会 / Japanese and Society		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
授業担当教員名 (科目責任者) / Instructor in charge of the course	前田 桂子 / Keiko Maeda		
授業担当教員名 (オムニバス科目等) / Instructor(s)	前田 桂子 / Keiko Maeda, 大平 晃久 / Teruhisa Ohira		
科目分類 / Course Category	全学モジュール 科目		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	講義 / Lecture
教室 / Class room	教養教育A棟43 / RoomA-43		
対象学生 (クラス等) / Intended year (class)	医・歯・工・環		
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	前田 kmaeda_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください) 大平 ohirat_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に変更して送信してください)		
担当教員研究室/Office	前田 教育学部棟6階 624研究室 大平 教育学部棟6階 613研究室		
担当教員TEL/Tel	前田 2301 大平 2305		
担当教員オフィスアワー/Office hours	前田、大平とも 火 5		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	前半では、現代において進みつつある文法変化や意味変化、方言と共通語など身近な例を取り上げ、日本語の諸問題について考察する。また後半では、言語と空間・地域にかかわるさまざまな問題を考察する。		
授業到達目標/Course goals	身近な日本語の成り立ちについて理解を深め、その理由を自ら探求し、自分の言葉で説明する能力を身に付ける。また、人間の環境認知や地名について、多文化的な視点も加えつつ理解を深め自ら探求するとともに、自身の言葉で説明する能力を身に付ける。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力 (1つ以上3つまで) /Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course ( pick 1 to 3 )	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 /Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等/Method of evaluation	授業中に課すレポート、小テスト (30%) 期末試験 (70%)		
各回の授業内容・授業方法 (学習指導方法 ) /Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前、事後学習の内容/Preparation & Review	授業の終了時にはその時間の振り返りをするとともに、次回の予習を求めます。		
キーワード/Keywords	現代語、文法、流行語、方言、環境認知、多文化教育		
教科書・教材・参考書/Materials			
受講要件 (履修条件) /Prerequisites			
アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員 (上記連絡先参照) または「アシスト広場」 (障がい学生支援室) にご相談下さい。 アシスト広場 (障がい学生支援室) 連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) /Remarks (URL)			
学生へのメッセージ/Message for students	身近な日本語の由来や特徴を知り、日常的に使用している自らの日本語を内省します。積極的な参加を求めます。		

実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	大平 晃久/中学校(社会)・高等学校(地歴・公民)非常勤講師/中高の授業に生かせる内容を講義 するとともに、大学入試に対して地理教育分野からどう応えているかということを念頭に講義を行 う。 /
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	オリエンテーション 文字について
第2回	語彙について
第3回	訳語と外来語
第4回	標準語と俗語、若者語
第5回	敬語
第6回	方言
第7回	変化する文法
第8回	総括、確認テスト
第9回	言語と世界 (オリエンテーション)
第10回	言語と空間参照枠
第11回	地名のアルケオロジー
第12回	地名のソシオロジー
第13回	歌枕・万葉地理?場所のイメージ(1)?
第14回	コンテンツ・ツーリズム?場所のイメージ(2)?
第15回	多言語・多文化化と言語景観
第16回	期末試験